

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成30年9月】

■調査概要（データ対象期間：平成30年9月1日～9月30日）

- 調査期間：平成30年10月3日～平成30年10月19日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業25企業、製造業24企業、卸売業11企業、小売業30企業
飲食業19企業、サービス業47企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計156企業>
- 調査項目：9月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

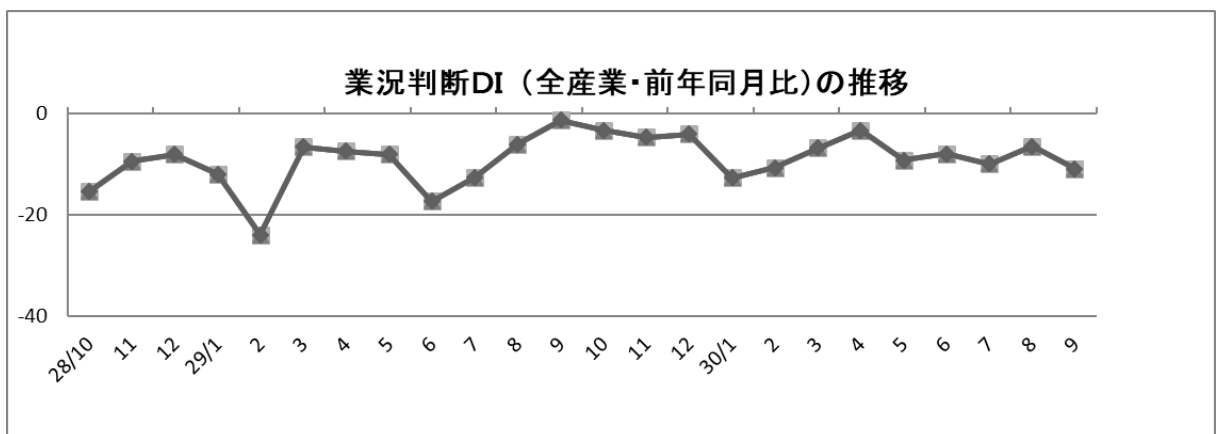
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲6.5）よりマイナス幅が4.4ポイント拡大し、▲10.9となった。業種別では、建設業は0からプラスとなり、サービス業はプラスから0となった。製造業はプラスからマイナスに転じた。小売業、卸売業はマイナス幅が縮小し、飲食業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲5.8）よりマイナス幅が7.0ポイント拡大し、▲12.8となった。業種別では、サービス業はプラスからマイナスに転じ、建設業、飲食業は0からマイナスとなった。小売業、製造業はマイナス幅が縮小し、卸売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	14.7 (15.7)	59.7 (62.1)	25.6 (22.2)	▲10.9 (▲6.5)	13.5 (20.3)	60.2 (53.6)	26.3 (26.1)	▲12.8 (▲5.8)
建設業	20.0 (9.1)	68.0 (81.8)	12.0 (9.1)	8.0 (0.0)	8.0 (13.6)	80.0 (72.8)	12.0 (13.6)	▲4.0 (0.0)
製造業	16.7 (21.7)	54.1 (65.3)	29.2 (13.0)	▲12.5 (8.7)	20.8 (26.1)	54.2 (43.5)	25.0 (30.4)	▲4.2 (▲4.3)
卸売業	9.1 (10.0)	45.4 (40.0)	45.5 (50.0)	▲36.4 (▲40.0)	27.3 (30.0)	27.2 (30.0)	45.5 (40.0)	▲18.2 (▲10.0)
小売業	16.7 (12.9)	60.0 (51.6)	23.3 (35.5)	▲6.6 (▲22.6)	13.3 (12.9)	56.7 (48.4)	30.0 (38.7)	▲16.7 (▲25.8)
飲食業	0.0 (21.1)	47.4 (42.1)	52.6 (36.8)	▲52.6 (▲15.7)	0.0 (31.6)	52.6 (36.8)	47.4 (31.6)	▲47.4 (0.0)
サービス業	17.0 (16.7)	66.0 (70.8)	17.0 (12.5)	0.0 (4.2)	14.9 (18.8)	66.0 (64.5)	19.1 (16.7)	▲4.2 (2.1)

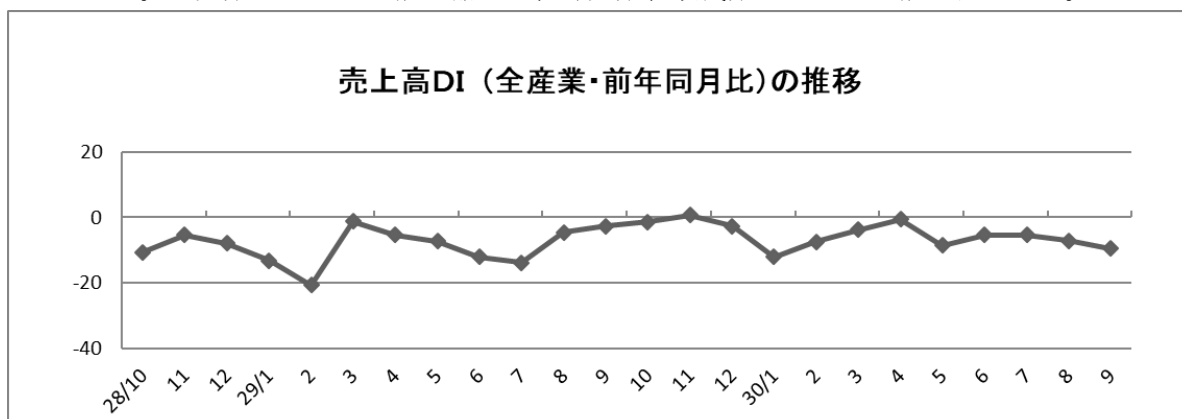
※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

()内は前月データ



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲7.2）からマイナス幅が2.4ポイント拡大し▲9.6となった。業種別に見ると、建設業は0からプラスとなり、製造業、サービス業はプラスから0となった。小売業はマイナス幅が縮小し、卸売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

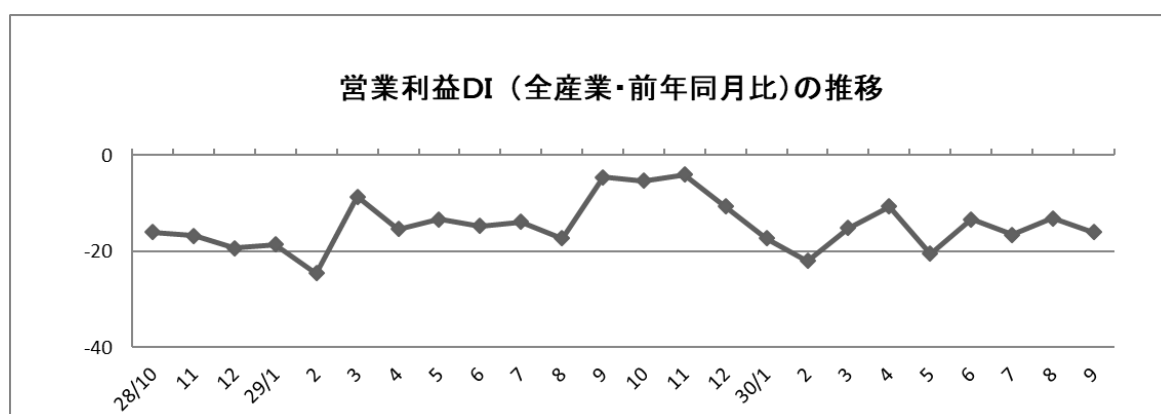


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 体	▲ 2.7	▲ 1.4	0.7	▲ 2.6	▲ 12.0	▲ 7.4	▲ 3.8	▲ 0.6	▲ 8.6	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 7.2	▲ 9.6
建 設 業	23.8	13.7	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6	▲ 4.6	▲ 8.7	4.3	0.0	16.0
製 造 業	5.2	▲ 4.5	0.0	▲ 13.7	▲ 4.3	▲ 14.3	▲ 14.3	8.7	▲ 5.0	0.0	18.2	13.0	0.0
卸 売 業	0.0	13.4	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲ 15.4	26.6	▲ 26.7	▲ 18.2	▲ 30.0	▲ 54.5
小 売 業	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 20.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 38.7	▲ 8.0	▲ 30.8	▲ 29.0	▲ 10.0
飲 食 業	▲ 15.0	▲ 20.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6
サービス業	▲ 4.2	4.9	0.0	▲ 2.5	▲ 9.5	0.0	▲ 2.7	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0

3. 営業利益DI（前年同月比）

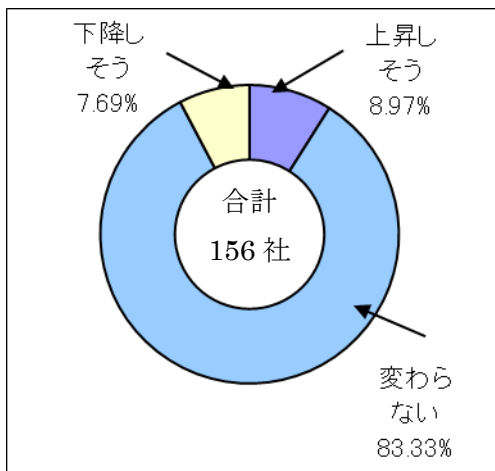
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲13.1）よりマイナス幅が2.9ポイント拡大し、▲16.0となった。業種別に見ると、製造業はプラスから0となった。小売業、建設業はマイナス幅が縮小し、サービス業、飲食業、卸売業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

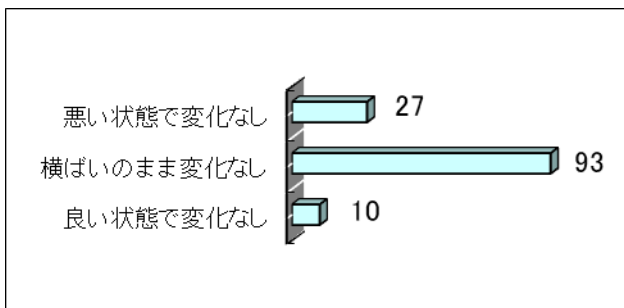
	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 体	▲ 4.6	▲ 5.3	▲ 4.0	▲ 10.6	▲ 17.3	▲ 22.0	▲ 15.1	▲ 10.6	▲ 20.5	▲ 13.3	▲ 16.5	▲ 13.1	▲ 16.0
建 設 業	4.7	13.6	8.0	▲ 4.2	▲ 13.1	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 21.7	▲ 17.4	▲ 22.7	▲ 12.0
製 造 業	5.2	▲ 9.1	5.0	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 47.6	0.0	▲ 4.4	▲ 15.0	▲ 18.2	18.2	13.0	0.0
卸 売 業	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	0.0	0.0	▲ 37.5	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0	▲ 36.3
小 売 業	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.1	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 54.9	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4	▲ 20.0
飲 食 業	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 22.2	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4
サービス業	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 16.7	▲ 5.1	▲ 5.4	8.1	▲ 2.3	4.3	1.9	▲ 2.1	▲ 6.4

◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○平成30年10月～平成30年12月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.47ポイント増加し8.97%、「下降しそう」が2.46ポイント増加し7.69%となった。業種別の見通しDIは建設業(12.0)、製造業(▲4.2)、卸売業(0.0)、小売業(0.0)、飲食業(▲10.5)、サービス業(4.2)であった。

➡「上昇しそう」では「得意先の手持ち工事量が比較的多いため」「公共の仕事予定があるため」(建設業)「新規品を立ち上げるため」「新規受注が見込めるため」(製造業)「寒くなりコート、ニットの良い物を仕入れているため」「イオンモール開業効果の一巡による基調アップが見込まれるため」(小売業)「忘年会シーズンに突入のため」(飲食業)「婚礼、宴会シーズンに入るため」「秋は新しい講座が始まるため」「新しい育毛法などの導入のため」「これ以上は悪くなることはないと思うため」「検収完了後の回収が見込め、新規の引き合いがあるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

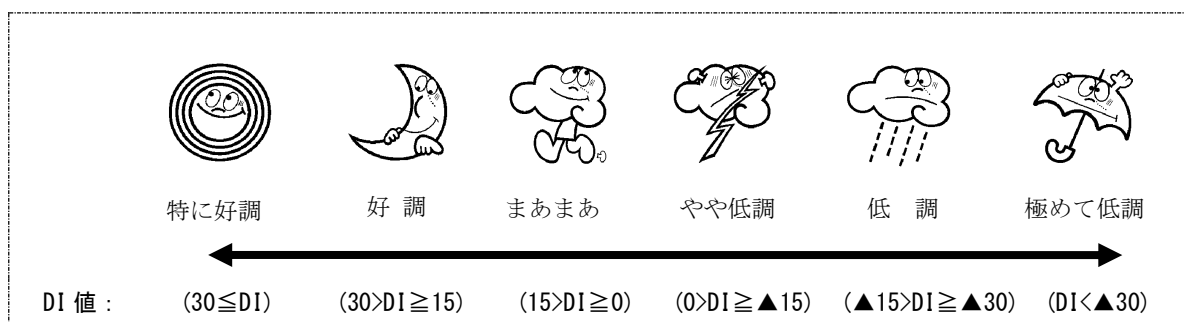


➡「変わらない」では「原価割れの悪質なデフレ営業が依然横行しているため」「概ね例年と同様の売上を確保できるため」(製造業)「新規需要が少なく、当面の需要者で賄っているため」「不確定要素が多く、分からないため」(小売業)といった声が寄せられた。

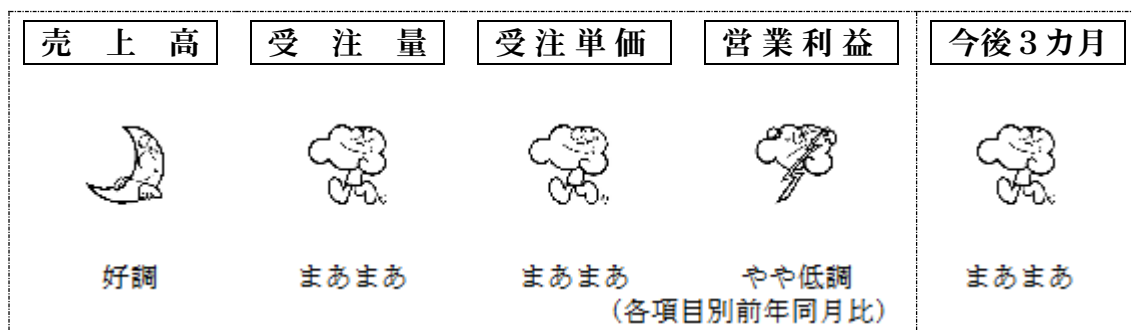
➡「下降しそう」では「観光シーズン終了のため」「ガソリンの高騰で物流が不安定なため」「12月までは動きが鈍いと思われるため」(飲食業)「11月、12月は閑散期のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	23.8	13.7	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6	▲4.6	▲8.7	4.3	0.0	16.0
受注量	9.6	18.2	4.0	12.5	▲8.7	19.1	▲9.5	▲4.5	0.0	0.0	13.1	9.1	12.0
受注単価	4.7	▲4.6	0.0	▲12.5	▲8.7	▲9.5	▲5.5	▲4.5	0.0	▲8.7	0.0	4.6	8.0
営業利益	4.7	13.6	8.0	▲4.2	▲13.1	▲14.3	▲22.2	▲22.7	▲13.6	▲21.7	▲17.4	▲22.7	▲12.0
見通し	0.0	▲4.5	4.0	0.0	8.7	14.3	0.0	4.5	18.2	13.1	8.7	9.1	12.0

<経営者の目・見方・e t c >

- 土木工事
 - ・公共事業の発注量が多くなっている。
 - ・大型工事の物件受注も地元業社の受注が目立ち、良い状況である。
 - ・松本市の管業更生(下水道管の再生)工事の発注がかなり進んでいる。
- 電気工事
 - ・動きが全く感じられない。製造業の業績が上がってこないと建設業も業績が上がらないようである。今後に期待するのみである。
- 管工事
 - ・受注単価は変わらない。仕入資材が値上りしたため、安定した経営が出来ない状況である。1年位は変わらない見通しがほしい。
- 土木工事
- 建設工事
 - ・必要なのは増税ではなく減税であると思う。
 - ・過去に無いほど仕事の動きがなかった。請負っていた民間の受注等で乗り切った。
- 鉄工
 - ・各社とも山積みの繁忙状況だが図面決定の悪さに加え、鋼材とボルトが入手困難となっている。これも2020年の東京オリンピック関連の建設に資材が先取りされていることが原因だと思う。

総合建設

建設業

- ・鋼材メーカーの生産が追いつかず、鋼材及び高力ボルトの入手難となっている。
- ・それぞれの会社がそれなりの仕事量を確保している。今後下請けの確保が難しくなる。
- ・官公庁の発注が増えてきたように思う。コンスタントに受注できるようにしたい。

2. 製造業



<経営者の目・見方・e

t c >

【項目別DIの推移】

	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売 上 高	5.2	▲ 4.5	0.0	▲ 13.7	▲ 4.3	▲ 14.3	▲ 14.3	8.7	▲ 5.0	0.0	18.2	13.0	0.0
受 注 量	15.8	▲ 9.1	0.0	▲ 13.6	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 9.5	8.7	0.0	▲ 4.5	4.6	13.0	▲ 4.0
受 注 単 価	▲ 10.5	▲ 18.2	▲ 15.0	▲ 13.6	▲ 8.7	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 13.0	▲ 5.0	▲ 18.2	▲ 13.7	▲ 13.1	▲ 16.7
営 業 利 益	5.2	▲ 9.1	5.0	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 47.6	0.0	▲ 4.4	▲ 15.0	▲ 18.2	18.2	13.0	0.0
見 通 し	▲ 5.3	0.0	▲ 5.0	▲ 9.1	8.7	9.5	▲ 14.3	▲ 8.7	15.0	▲ 4.6	0.0	8.7	▲ 4.2

印刷

菓子

金属塗装

- ・デフレ営業が「キャンペーン中ですのでお安くします」と言って仕様に基づいて適切に積算すればかかる印刷用紙代の半額に満たないような仕事を受注していた。同じような「キャンペーン」を謳った直後に倒産した会社があった。某大手ネット通販印刷会社では「印刷業界に市場価格を作り出し、お客様と印刷会社双方にとってよりよい世界を作ります」と謳っているが、全国の印刷会社の空き稼働率活用と言う名目の元に原価無視の価格が「市場価格」となるのは地方印刷業にとっては厳しい状況である。
- ・出版業界(頁物印刷)としてはまだ動きが鈍い状況である。
- ・従業員(特に9時～3時の5時間パート)が集まらず、製造高に支障をきたしている。
- ・塗装の受注、売上が好調で銘板は多少落ち気味だ。原油、LPGが高騰していてどこまで上がるか心配だ。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	0.0	13.4	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲15.4	26.6	▲26.7	▲18.2	▲30.0	▲54.5
販売客数	0.0	▲6.7	6.6	0.0	0.0	0.0	▲15.4	▲7.7	0.0	▲6.7	0.0	▲10.0	▲27.3
販売客単価	▲8.4	6.6	13.3	18.8	6.7	18.7	23.1	0.0	▲6.6	▲6.7	▲9.1	10.0	0.0
営業利益	▲16.7	6.7	▲13.3	0.0	0.0	▲37.5	▲23.1	▲15.4	▲6.6	▲6.7	▲18.2	▲10.0	▲36.3
見通し	▲8.3	▲6.7	▲6.7	▲6.2	▲13.3	▲6.3	0.0	▲7.7	6.7	0.0	0.0	10.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

土産品

・各地での自然災害の影響もあり、全体的に落ち込みが目立つ。晴天の週末が続いてほしいと感じる。

金属製品

・最近の円安傾向が気になる。

・鉄鋼関連は、鉄骨案件が旺盛であり依然好調に推移している。一方半導体関連は、一時期の好調さを取り戻す見通しであったが、まだ脱却できない状況である。

機械工具

・連休があったものの先行受注分の納品が多かった。景気の勢いが感じられない。

4. 小売業







【項目別DIの推移】

	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲16.1	▲12.9	▲20.7	▲16.7	▲33.3	▲18.2	▲11.5	▲10.7	▲38.7	▲8.0	▲30.8	▲29.0	▲10.0
販売客数	▲16.1	▲22.5	3.5	▲30.0	▲25.9	▲18.1	▲27.0	▲10.7	▲25.8	▲32.0	▲38.5	▲38.7	▲23.3
販売客単価	▲19.3	0.0	▲10.4	0.0	▲3.7	3.0	11.6	17.9	▲19.4	0.0	▲7.7	▲12.9	▲3.3
営業利益	▲9.7	▲9.7	▲20.7	▲20.0	▲33.3	▲15.1	▲26.9	▲25.0	▲54.9	▲20.0	▲46.2	▲35.4	▲20.0
見通し	▲3.2	3.3	3.4	▲13.3	7.4	0.0	▲3.9	▲3.6	3.2	4.0	0.0	0.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

印章	<ul style="list-style-type: none"> ・天候不順で最悪の月であった。 ・毎年9月に行われる印章業界主催の展示会では、プリントウェアブースが年々増えている。
住宅機器 ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・とても忙しい月であった。 ・イオンモールが開業し1年が経過した。これでマーケットの評価はほぼ固まったと思われる。今後はいかにマーケット内で独自性を打ち出すか、また行政・地域と連動しながら中心市街地へのアクセス、滞留を強化するかといったことに注力していく時期になった。 ・業界的に自然災害に大きく影響され厳しい月であった。松本においても台風の影響により閉店時間の繰上げなどが発生した。
薬局 化粧品 陶磁器	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の中では良かったと思う。キャンペーンも行った。 ・台風など天候不順は来店数に影響がでる。 ・来年秋の消費税増税を前提にした値上げ時期の前倒しの動きがある。例年だと新春や年度初めの価格改定が多いのだが、そうすると年に2回値上げが続いて印象が悪くなるので年内中に商品価格の値上げをしておくというのである。増税後は当分値上げできない状況が続くという見立てには同感である。
菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の影響か人出は例年より少なめであった。イオンモールオープン1周年で久しぶりに大橋通り、中町通りは渋滞が激しかった。 ・「松本スイーツ」が井上地下で常設となった。
パン	<ul style="list-style-type: none"> ・食品成分表示、カロリー表示、原産地表示、消費税対策、HACCP等どれを取ってもしんどいことばかりだ。 ・取引業者の話では同業他社の良いニュースを聞かない。今後の不安である。
ガラスサッシ	<ul style="list-style-type: none"> ・やや低迷状態。これから寒くなるにつけ、断熱志向に仕事が向いてくれればと期待している。
書籍・木のおもちゃ	<ul style="list-style-type: none"> ・来店数の減少により売上は厳しい状態が続いている。対策を考え、乗り切るしかない。
婦人服	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年のイオンモールオープンという不安要素がなくなり、百貨店で買い物というミセスのお客様が多くなり、落ち着いた店内に戻ってきたため計画的な販促もできる様になってきた。

5. 飲食業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3カ月
				
極めて低調	極めて低調	極めて低調	極めて低調	やや低調

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲15.0	▲20.0	0.0	▲23.5	▲25.0	▲35.0	▲11.1	▲25.0	▲22.2	▲21.1	▲61.1	▲15.8	▲52.6
販売客数	▲10.0	▲20.0	5.9	▲23.5	▲30.0	▲30.0	0.0	▲12.5	▲22.2	▲21.0	▲72.2	▲15.8	▲52.6
販売客単価	▲15.0	▲25.0	0.0	▲23.5	▲25.0	▲10.0	▲5.5	▲12.5	▲16.6	▲10.5	▲33.3	▲5.3	▲36.8
営業利益	▲10.0	▲25.0	0.0	▲23.5	▲30.0	▲35.0	▲22.2	▲31.2	▲33.3	▲36.9	▲66.6	▲26.3	▲47.4
見通し	0.0	▲5.0	5.9	▲17.6	25.0	5.0	5.5	▲6.2	▲5.6	21.0	0.0	▲15.8	▲10.5

<経営者の目・見方・etc>

寿司

- ・3連休が2週連続であり本来であれば昨年比で大きなプラスを望める月であったが、週末に悪天候になるなどマイナス要素もあり、期待ほどの結果とはならなかった。
- ・今後は年末に向けて台風被害による葉野菜などの値上りに注視したい。
- ・全国各地に被害をもたらした台風24号の影響で日本全域の海は大荒れの状態が続いたので、魚の価格が高く、種類も少なく厳しい9月であった。

料理

- ・地震、台風等で不安が多く人の動きが全く無い月だった。3連休が2週連続と店は暇である。

創作料理

- ・とにかく客が動かない。例年同時期に予約が入る顧客も1/3程度となっている。年末に向かっても客数が戻る感はない。

中華料理

- ・アルバイトを募集しても、全く来なくて非常に困っている。忘年会シーズンが心配だ。

食堂

- ・イオンモールが開店して1年が経過し街に定着してきたように思う。土日祝日は人出が多く周辺も賑やかだが、平日の混雑は見られない。台風や雨の悪天候が影響し客足が伸びず売上が減少になった。

喫茶

- ・大手門駐車場の代替施設が11月末の工期で建設が進められている。年間約30万人の観光バス乗降が期待される。

郷土料理

- ・連休を含め順調に見えたが、後半来客が減少し低調になった。先が心配になる。

仕出し料理

- ・前年と変わらない売上であった。野菜の高温障害、台風の影響で、青果、鮮魚が収穫、漁獲量ともに少なく高止まりであった。サンマは豊漁で多く提供できた。






居酒屋

- ・大きなイベントが無く特に人が出たわけではない。連休が2週続き、平日の客数が減った感じがする。

洋風居酒屋

- ・台風の影響のためか、下旬までは動きが鈍かったと思う。

6. サービス業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3カ月
				
まあまあ	やや低調	まあまあ	やや低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲4.2	4.9	0.0	▲2.5	▲9.5	0.0	▲2.7	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0
販売客数	0.0	0.0	▲2.3	▲9.8	▲23.9	▲12.8	▲5.4	6.1	▲8.9	6.4	1.9	▲8.4	▲4.2
販売客単価	▲4.2	9.8	▲4.6	▲2.4	▲4.8	0.0	8.1	4.0	4.4	4.3	5.8	4.2	4.2
営業利益	▲4.3	▲4.9	▲2.3	▲9.8	▲16.7	▲5.1	▲5.4	8.1	▲2.3	4.3	1.9	▲2.1	▲6.4
見通し	8.5	▲4.9	0.0	0.0	▲4.7	2.6	8.1	6.1	8.9	14.8	0.0	6.2	4.2

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備、 板金塗装 不動産賃貸 観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンの値上がりで車に乗る機会も減るのではないかと心配だ。盆明け以降忙しさは続いているが、この先稼働率が下がり仕事量が減るのが不安になる。 ・台風21号、24号の影響は全く無かった。 ・ここ10年で最悪の売上となった。原因は連休や土日の度に来る台風や悪天候であった。そして実際はそんなに悪い天気ではなかったにも関わらず、天気予報による風評被害に襲われた。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスも観光客も例年通りであったが、松本マラソン出場の皆さんは台風で残念だった。しかし「松本に来て良かった。来年の出場が楽しみ」と帰宅された。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・9月末の台風により、宿泊・宴会の予約にキャンセルや、大型宴会での大幅客数減も発生し影響があった。
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ・台風が週末に重なり山行者は少なかった。月末の土日の台風で客数が一気に下降に転じた。
写真	<ul style="list-style-type: none"> ・少しだが売上が伸びている。感謝である。
リラクゼーション	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は上がったが、人件費も上がっているため、利益的には厳しい状況が続いている。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・天候が安定せず客数、売上高は前年より少なかった。 ・オート燃料のLPガス価格が6ヵ月連続で値上げが続いている。
機械設計 ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカと中国の貿易摩擦の影響を受けている。 ・人手不足は、人はいても技術不足+常駐必須が原因というのが実態なのではないか。今後、軽減税率対応や働き方改革の影響でシステム企画は多いもののチャンスと捉える機会が少ない。
ホームクリーニング、リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームクリーニングの売上減が続いているが、それ以上にリネンサプライが売上を対前年比増で推移している。
マナー講師	<ul style="list-style-type: none"> ・初秋は景気が少々上向きになり、何か始めたい人が多くなる。春と秋という季節の節目は始まりである。気持ちも新たに頑張っていきたいと思う。

美容	<ul style="list-style-type: none"> ・ありえない謳い文句の宣伝広告に惑わされ、髪が痛んでしまった方が来店されている。
ネイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイリスト協会では11月11日を「ネイルの日」と定めている。その日に向け8月～10月の3ヵ月の間、インスタグラムでキャンペーンを行っている。 ・今年のネイルトレンドデザイナーがこの秋冬のトレンドデザインを発表した。 ・向こう3ヵ月はネイルエキスポやネイルの日などのイベントが多く開催される。
測量、建設コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> ・入札は出ているが40数社でくじ引きの為当たらない。仕事が取れるかは運だけで先が読めない。これでは事業とは言えない。
教育業	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化で体調を崩す子供が多く、台風等の影響で休講をした。今後は子供達が安心して教室に来られる様に配慮することが必要になってきている。

